

まちの未来を見据えて進める 4つの先導的プロジェクト

各交流拠点 の整備

【文化交流拠点】

古河駅東部土地区画整理事業



■進捗状況

約**50%**(平成30年度末:事業費ベース)

国道125号、十間道路、向堀川を中心に地区内の整備が大きく進んでいます

■今後の方針

「古河市のまちづくり」に関する市民アンケートでは、文化交流拠点に商業施設の誘致を希望した人が約44%いました

5.8haの大街区の利活用については、商業施設等の事業を希望する民間事業者に売却する方針で進めています

【みどりと産業交流拠点】

古河名崎工業団地



■整備効果

みどりと産業交流拠点として平成29年度から本格的に稼働。現在、工業団地内では

約**2,700人**が就労しています

そのうち

約**200人**が市内高校出身者です

■仁連工業団地も完成間近



12haの分譲面積を有し、新たな産業拠点として大きな需要が見込まれます

各交流拠点の整備

産業・文化などの市の活力づくりを先導するよう「みどりと産業交流拠点」「文化交流拠点」の整備を進めています。

「みどりと産業交流拠点」である古河名崎工業団地では、日野自動車株式会社を中心に関連企業が立地し、多くの雇用を生むという成果を上げています。今後、新しい生産工程の増設が決まり、さらに300人程度雇用が拡大する予定です。

このほかにも、12ヘクタールの分譲を計画している仁連工業団地の整備が完成間近となっており、市全体での活力向上が期待されます。

また「文化交流拠点」である古河駅東部土地区画整理事業では、地区全体が拠点として位置付けられています。現在は、地区全体を南北に結ぶ道路の整備や向堀川の改修を中心に宅地造成などを行い、魅力ある住宅地の整備を進めています。

昨年度実施した「古河市のまちづくり」に関する市民アンケートでは、地区内に商業施設を望む声が多くありました。そのため、国道125号と十間道路に挟まれた約5.8ヘクタールの大街区を商業施設等の事業を希望する民間事業者に売却する方針で進めています。



▲「市長と語ろう まちづくり」では、先導的プロジェクトの内容についてたくさんの議論を交わしました

古河市における 4つの先導的プロジェクト

(仮称)南古河駅
の設置

筑西幹線道路
の整備

高等教育機関
の誘致

各交流拠点
の整備

平成17年9月に新「古河市」が誕生し、来年は合併15周年という節目の年を迎えます。今年度は、合併時に策定した先導的プロジェクトを改めて市民の皆さんに知っていただくため、9月から10月にかけて「市長と語ろう まちづくり」を開催しました。まず、先導的プロジェクトの進捗状況をできる限り分かりやすく説明し、たくさんの方の議論を交わすことで相互理解を深めているところです。

今回は、古河市の発展につながる4つの先導的プロジェクトの現状についてお知らせします。

古河の未来を市民と共に考える 4つの先導的プロジェクト

まちの発展につなげる道しるべ

合併前の平成17年に策定された新市建設計画には、4つの事項が先導的プロジェクトとして位置付けられています。

合併したことで、広域での行政運営や合併特例債などの有効な財源が活用できるようになりました。その結果、新市建設計画に予定される事業を順次実施でき、地域の魅力向上につなげていきます。

先導的プロジェクトの現在地

昨年8月に「古河市のまちづくり」に関する市民アンケートを、市内在住の満18歳以上から抽出した人を対象に実施しました。この結果では「(仮称)南古河駅」「筑西幹線道路」「高等教育機関」「各交流拠点」などに関心のある人はいるものの、それが先導的プロジェクトの一部であるという認識を持っている人が非常に少ない(知らない)と回答した人は約9割ということが分かりました。

今回は、合併後に進めてきた先導的プロジェクトへの理解を深めるため、それらの現状を分かりやすくお伝えします。そして、私たちが住むこのまちをこれからのように発展させられるのか、市民の皆さんと一緒に考えていきたいと思います。